年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　芸術　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　　組

教科担当者：橋岡昭男　　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（　光村図書　美術Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：　芸術文化に理解を深め生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる

【知識及び技能】中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適用適所の使い方

【思考力、判断力、表現力等】発想から完成までの計画性と創造的な技能で感性を高める

【学びに向かう力、人間性等】自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現する

科目　美術Ⅰ　　の目標：　感性や想像力を働かせて心豊かな発想をし、よさや美しさを　などを考え構想する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適用適所の使い方	発想から完成までの計画性と創造的な技能で感性を高める	自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	、	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	「見る　感じ取る　考える　表す」高校美術Ⅰのイメージを持ち美術の学びの意味や広がりについて考える	美術学習のオリエンテーション 授業内容、必要な用具や材料教科書の説明	○	○	○	○	美術への関心や意欲、態度、教科書の内容が理解できたか	○	○	○	2
	プリントの図形を的確に理解し表現すること　プリントの線を守りながら丁寧に1つずつ明度をつける	立体の意識　正面・側面・上面3方向からの図形から立体を描く　グラデーションの練習	○	○			立体を把握しデッサンできたか 根気強く丁寧に塗り重ねているか	○	○	○	4
	白と黒が隣り合うときの明暗や線が長短に見える錯覚の理解 補色についての理解 色彩について基本事項を学ぶ調和や対比に	目の錯覚　幾何形体の理解 色相環のプリントを絵の具を使って塗る	○	○			錯覚を理解できたか　知らない幾何形体をどれだけ立体的に描けたか　丁寧に絵の具を使ってむらなく塗れているか	○	○	○	8
	3方向からの光を意識して立体を組み立て構成する ねじれや上・側面の明暗での把握（明度の段階に分ける） アクリル絵の具の使い方や明度による色彩表現方法	3次元・四次元の立体 白黒（鉛筆）による3・4次元の立体色彩による3・4次元の立体	○	○			集中力・持続力をもって作品にどれだけ向き合っているか　構造や立体の把握・明度段階に応じた色を塗れているか	○	○	○	6
2学期	色彩の効果によって個性豊かな色味と感性ができることを学ぶ 感性や想像力を働かせて主題を生成し創造的な表現の構想を練る	春夏秋冬をイメージした色彩 プリントの枡を一つずつ丁寧に塗る　動物を使ったマークを考える	○	○		○	形や色を使って感情や思考を造形で表すことができたか　丁寧にアクリル絵の具を塗ることができたか	○	○	○	12
	主題を主体的に追求することでより深く内容を把握できるようにする	パズルに生徒が興味や関心を持てるように漫画やアニメーションのキャラクターを取り上げ作品を仕上げる	○	○	○	○	個性豊かな表現とお気に入りのものを描くことで集中力を補い作品の優れた所も学ぶ	○	○	○	12
3学期	鉛筆によるトーンの練習　明度の境界を見極めて線が引け表現出来たか	写真を使った鉛筆による模写 雑誌のグラビアから興味のある題材を基に描く					根気強く丁寧に作業ができているか　集中力持続力をもって制作しているか	○	○	○	10
	トーンの練習により形を線ではなく面で捉える指導をし、次の課題に生かせるようにする	写真を使った鉛筆による模写 により立体感を学び明度の微妙な色あいを学ぶ					完成度の高い作品になっているか	○	○	○	10
											合計
											64